

# 中部部報 第1号

2022. 7. 1～2023. 6. 30

## 主 題

- 国 際 会 長 「フェロシップとインパクトで次の100年へ」  
ア ジ ア 会 長 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」  
西日本区理事 「原点を知り将来に生かす」  
中 部 部 長 「明るく 清く 美しく -よき隣人として (Befriending) -」

ワイズメンズクラブ西日本区

中部各クラブメンバーの皆様



中部部長 山内ミハル

コロナ感染症が収束の兆しを見せていましたので、ほっとしていた矢先、第7波が到来。またまた諸事業の再開が難しくなっています。今期はワイズメンズクラブ創立100周年、東西日本区25周年となります。先達が残した足跡に続けて、確かな歩みを残したいものです。

そこで、今期部長主題を「明るく 清く 美しく -よき隣人として (Befriending) -」としました。国と国が争い、人と人が憎み合うのではなく、よき隣人としてお互いに愛し合い、助け合って、美しい日本を次

世代に残していきたいのです。

自己研鑽の良き場を提供してくれるワイズ活動です。毎月の例会内容に工夫を重ね、メン、メネット揃って楽しく例会に参加し、人間力を磨きましょう。各部の周年例会や特別例会にはできるだけ訪問しあつて、お互いの交流を深め、地域の認知度を高めたいものです。また、名古屋、富山、金沢のYMCAが計画している事業に、青年たちが楽しんで、意欲的に参加できるように、物心両面から支援しましょう。

この1年、よろしくお願い致します。

## 活動方針

2020年に始まったコロナパンデミックが人々の生活に大きく影をおとし、不安と焦りの中にありながらもワイズメンはしたたかに2022年 Y's Men International 創立18周年と東西日本区25周年をむかえ、20222023年には次の歴史を作るべく新しい歩みを始めようとしています。先達が残していった足跡に続けて確かな歩みを残したいものです。

ワイズ活動は自己研鑽の良き場を提供してくれます。例会内容を工夫し、メン、メネットが揃って楽しく例会に参加し、人間力を磨きつつ、YMCAの活動を活発にして、青年たちが意欲的に参加できるように支援しましょう。

## 活動計画

- ① EMC事業を強力に推し進め、会員増強を図る
- ②各クラブの周年行事、特別例会等に、各クラブができる限り参加するなどの協力をし、各地のワイズメンズクラブの知名度を上げる

- ③名古屋、富山のYMCA活動をバックアップする。
- ④低迷している金沢YMCAが計画的に、活発な活動ができるよう知恵と力を集めて支援する。

#### 部行事予定

- ①中部評議会を年3回開催する。
- ②部報の発行
- ③各クラブの伝統行事を継続・発展させる。
- ④中部部会の開催

\*日時：2022年9月24日(土)

\*場所：金沢ニューグランドホテル

- ⑤各地のYMCA行事を支援する。

その他の計画・特記事項

金沢クラブ創立75周年記念例会を中部部会と同時開催する。\*日時：2022年9月24日(土)

## 役員からのメッセージ

### 直前中部部長



名古屋クラブ 渡辺真悟

昨年度は9月に日和田キャンプ場で予定された中部部会がコロナで中止になり、やっと4月に戸田川緑地で「YMCA・ワイズフェスティバル/デイキャンプ交流会」を開く事が出来て

これで何とか次期に引き継ぐ事ができ 新年度は多少落ち着いた環境でワイズの活動が出来るように成るのかなと思いました。

「YMCA・ワイズフェスティバル/デイキャンプ交流会」は新しい試みとして YMCA とワイズの協働の一つの形を示せたのかなと思っています。色々形や中身は変えながらもこの様な活動が是非継続して行くと良いなって思っています。ワイズの活性化や会員増強の為にもなるかと思えます。是非みんなで続けていきましょう。

しかしながら重症化するリスクは低いとは言え感染者が過去最大の勢いで増える中、私達の生活もワイズの活動もウィズ・コロナを前提にしてやらないと行けない様な昨今の情勢です。今年度の中部の役員さんもクラブの会長さんはじめメンバーの方も 色々大変な事が多いと思いますが 今の状況に合ったやり方を

皆んなで考えていきましょう。コロナを前提にして私たちワイズの活動も考えてゆくことが必要のように思っています。

### 次期西日本区理事



名古屋クラブ 深谷 聡

平素よりワイズダム発展のご協力に心より感謝申し上げます。コロナ禍、戦争と画面上には悲しいニュースに目を覆うばかりです。

私達ワイズメンズクラブに与えられた使命を考え、互いを認め合い私たちの活動が世界平和実現の一助となることを祈って止みません

私は2023年度から2024年度の西日本区の理事を拝命を致し、6月より有志にお願いをして、西日本区大会の準備を行って参りました。

さて、2024年6月8日(土)の短日開催を決定致しました。会場は名古屋市公会堂、前夜祭、懇親会の会場は、ANAグランドコート名古屋での予定であります。つきましては皆様のご協力を必要になります。何卒宜しくお願い申し上げます。

皆様もご存じの通り、西日本区の会員数も2000年には約1800名でありましたが、現在1300名強と約500名も減少しており、中部では2000年には200名あった会員数も、現在は83名と、我々の環境は厳しいものがあります。

そんな中であって、区大会の実現に向けは、出来る限り簡素化した大会になるよう、努めて参る所存であります。短日開催に決めたのもその理由のひとつであります。現在、頂いている意見の中には、バナーセレモニーの簡素化などがございます。

皆様より更に積極的なご意見提供をお願い致します。

ワイズメンズクラブは皆様お一人お一人が主人公であります。互いを認め合って一致団結で2024年の日本区大会と一緒に開催できますよう、皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

ユースと共に

Yサ・ユース主査



名古屋南山クラブ 小林滋記  
今期のYサ・ユース主任は、より緊密に～ワイズは YMCAとユースのために～と標語を掲げています。中部でもそれに応えるため協力をお願い致します。とは言

え状況はあまり前年度からは変わりがありませんが、私たちにはこの2年半のノウハウが有りさらに新しい試みも持っていることと思います。各クラブにおいては例年通りのYサ活動と共にユースとの交流も考えて下さい。

例えばとやまクラブではリーダー報告会があるそうですがそれにもう一つプラスをすることとか出来ないでしょうか？

そしてこれは個人的なお願いです。私たちは連絡主事やYMCAスタッフに雑用を押し付けていませんか？彼らも日々の業務で多忙なのです。雑務は私たちで心掛けて下さい。

#### 地域奉仕・環境事業の復活



中部地域奉仕・環境事業主査  
名古屋クラブ 平野実郎  
今期の中部地域奉仕・環境事業主査を務めます名古屋クラブの平野です。  
今期よりメネット事業委員会がメネット委員会に変更となり、メネット委員会と共同して事業

を行う事となりました。また、4月より活動が開始された「Y's×SDGs Youth Action2022 アクションプラン」にも関心を持ってください。詳しくは、以下のURLを参照ください。

<https://sites.google.com/japanymca.org/youth-action2022>

#### 【事業方針】

- (1) 地域社会への貢献活動の取組みを、今一度具体的かつ明確に計画・実行
- (2) 各部・各クラブの取組内容を積極的に発信し、情

#### 報の共有化を推進

(3) メネットとの協調関係を深め身近でできる方策を模索

(4) 国内における大規模災害復興支援の継続

(5) 「Y's×SDGs Youth Action2022 アクション」への理解・認識と支援

(6) 各種献金（CS・TOF・FFなど）・UGP（国際統一事業）の正しい理解で献金0クラブ「0」達成

#### 【事業計画】

(1) SDGsの17の目標&169のターゲットをヒントに、各部・各クラブが目標とする具体策を設定。  
「例として」

- ①勉強会の実施—SDGs本来の認識・食品ロス解消・再生可能エネルギーに関すること
- ②環境保全の取り組み—プラスチックゴミを出さない運動・定期的なゴミ拾い
- ③アップサイクルへの挑戦—使わなくなった物を捨てずに新しい物に作り替え価値を高める
- ④各種献金の理解度アップと目標達成—例会開催時・ZOOMミーティングの定期開催

(2) 地域内各種団体（奉仕団体やNPO・行政組織 etc）との情報交換、メネットとの更なるコミュニケーション強化など、身近な人たちとの定期的交流で取組事例を参考にするなど、時には連携し共同施策（コラボレーション）を展開することも可。

(3) CS資金を積極的に活用することを推進

<注1：但し、非継続的なCS事業であり、適正かつ効果的な地域貢献活動に限る>

(4) 各部・各クラブ活動内容を「西日本区HP」や「事業通信」で発信・共有

<注2：事業概要報告は様式適宜<写真要添付>でよいので、積極的に投稿願います>

#### 【献金目標】

- ①CS献金 1人あたり 1,500円
- ②TOF献金 1人あたり 1,000円
- ③FF献金 1人あたり 500円

④国際統一事業(UGP)1人あたりRBM献金500円  
地域奉仕・環境事業には、各クラブがされる事業に西日本区から補助金がでますので、活用をしてください。申請書等は西日本区ホームページの資料庫からダウンロードできます。もし不明な点やお困りの事がございましたらお問い合わせください。



## 中部国際・交流主査

名古屋東海クラブ 山田英次

今年度国際・交流主査を担当致します、一年間よろしくお願い致します。



現在、中部では3クラブがIBCを締結しており、その締結先は韓国、台湾、ロシアです、名古屋クラブはリモートで韓国聖岩クラブとの交流をはたし短い時間で有ったが親睦を深めた様です、又、今年台湾で開催

されるワイズ設立100周年記念祝賀会を機に台湾のクラブとIBC締結を模索しており、南山クラブの締結先の台北ベータクラブも候補先の一つとお考えの様です、南山クラブは韓国の新仁川クラブの前会長が区理事の就任にあたりお祝いのメッセージを寄稿されています、グランパスクラブはロシアの二つのクラブに締結書、ステッカー、七宝焼を贈りそれぞれのクラブからお礼のメッセージが届いている様です。

いずれのクラブ共今後長い国際交流が続く事を祈っています。

DBCは東日本区の仙台広瀬川、横浜とつか、熱海グローリー、御殿場と西日本区の滋賀蒲生野、京都東陵、奈良、和歌山紀の川クラブとそれぞれDBCを締結されていますが、いずれのクラブもコロナ過で交流もままならずそれぞれ止む無く延期になっている様です、我々のクラブも2019年に奈良で御殿場とのトライアングル交流会を開いてからはいまだに開催できておりません、そんな中グランパスクラブは5月に京都東陵クラブのホストで一泊の懇親会をされ、翌日は京都よしもとの演芸を楽しんだ様です。

コロナが早く終息し対面での交流会が再開される時が一日でも早く来る様願っています。

## 中部事務局長

金沢クラブ 数澤輝夫

今期、中部部会が金沢で開催されることになり、折しも金沢クラブ創立75周年の年にあたり、中部部会と



75周年記念例会を同日開催させていただくことになりました。何分にも会員数8名の小さなクラブで、オールスタッフで準備に取り組んでいます。名古屋地区の皆様には何かとお世話になることが多く、とりわけ荒川恭次様(名古屋

グランパス)が中部書記として事務的なことを一手に引き受けてくださっていることを感謝いたします。

金沢クラブでは、金沢へお越し頂くワイズメンの方々に金沢を楽しんで頂きたいと思い、金沢コンベンションビューローに観光マップ付き等のチラシなどの提供をお願いしました。またビューローより支援サービスとして、9/22(木)~9/24(土)まで、金沢駅(観光情報センター内)、小松空港(出入口)に大きく「大会名、会期、会場」をデジタルサイネージ(電子看板)で掲げて、歓迎のサービスをして頂くことになっています。今後とも皆様方のご協力をお願い致します。

## 一歩前に



金沢クラブ会長 幸正一誠  
金沢クラブは今期、多くのワイズメンズクラブとワイズメンに支えられ、創立75周年を迎えへました。感謝申し上げます。75年の永い歴史を創り守られた先達に感謝しつつ、更に

一歩前に進みたいと願っています。メンバー8名の小さなクラブですが、今期中部部長を山内ワイズが担われ、部会を金沢にて開催します。会長主題を「一人はみんなのために！みんなは一人のために！」としました。9月に開催予定の部会に向けて、このフレーズをメンバー各位が胸に留め「オールメンバー」で結束し、「さすが！伝統ある金沢クラブ」と称賛のお声を頂ける様に準備を行っています。

金沢クラブは「楽しくなければワイズじゃ無い」をクラブモットーとしています。長引くコロナ感染拡大により特別例会を催す事も出来ず、その「楽しさ」

を楽しむ事が出来ていません。其処で、第一例会のニコニコタイムをメンバー一人一人の「語りと近況報告」の場としたいと考えています。メンバーの日々の「あれこれ」を話して頂き、例会を賑々しく、楽しく過ごしたいと考えています。語れば「一晚」必要なメンバーもいるのが、すこし不安ですが？

まずは、中部部会に多くのクラブとワイズメンにお越し頂き、盛会にお開きとなる事。第一例会が「笑いのある」楽しい例会となる事。金沢クラブが「一步前に」進むためにも、この2点が今期の目標です。

ONE FOR ALL! ALL FOR ONE

### ワイズの未来を語ろう！

名古屋クラブ会長 戸田真二

名古屋クラブは今期、1947年8月27日チャーターより75周年を迎えました。現在の会員数は19名です。私はクラブ歴わずか3年目ですが、名古屋クラブの先達の方々を多く知っています。全盛期

は40名ほどのメンバーがいて、活発な様子であったことを聞きます。今から25年前(1997年)の中部全体の会員数は223名と記されています。2022年現在は83名、更にこの減少は続くであろうと思われ、会員数は1/3にまでなることが予測できます。歴史あるクラブは高齢化が更に進み、平均年齢も年ごとに上がって行くでしょう。ワイズメンズクラブも超高齢化社会と正に同期しているのです。高齢化のピークは2036年で日本人の1/3が65歳以上になると言われています。

さて、私たちは今、どんな時代を生活しているのでしょうか。超高齢化・コロナ禍・地球温暖化・IT化・スピード化等、今までに経験したことのない変移の中で生活しています。そして、これからの時代のキーワードはスマホ・クラウド・人工知能とも言われています。勿論、世界共通テーマは「SDGs」です。時代のスピード感についていくことは大変なことですが、未来のクラブまた中部の発展を創造する時、新たなかたちのイメージを語り合う場が必要です。この時代にあつての使

命、課題、魅力等「中部ワイズ未来構想委員会」みたいなものです。私たちはここに光や希望を見出し、更に種を蒔いていくことの意味を知り、将来が見えないのではなく、各クラブそして中部としての意思と共感が求められます。只今はコロナ禍にあつて活動が制限される中、とても難しい状況下にあると思いますが、名古屋クラブ75年のあゆみを想うと、そこには多くの苦難や試練を乗り越えてきたワイズ魂があることを感じます。

日本人の1/3が高齢者となれば、ワイズメンズクラブはとても魅力のある活動の場のターゲットになります。孤独な老後ではなく、自分にもできる活躍の場がそこにあると居場所ができます。人は人の魅力によって集まります。第三者から見てワイズメンズクラブがどのように見えるのか。見える化が重要であり、今いるメンバーひとり一人こそが発信源となって輝くことができれば、ワイズの未来はきっと開かれていくでしょう。最後に持論ですが、それぞれのクラブメンバー1/3人以上の実行部隊がいればクラブは発展できます。問題はクラブ人数ではなく動ける人の数です。中部としての連帯・相互応援・共感を大切に。

### スタートダッシュで出遅れて

名古屋東海クラブ会長 橋爪良和

今期がスタートして2カ月が過ぎました。コロナ感染は6月から7月にかけて収束に向かったと思いきや、再び変異株の蔓延で「第7波」の襲来となり、重苦しさは一気に元に戻った感があります。今年こそ、丸2年間の鬱積したものを吹き飛ばそうとしたスタート時の勢いがまさに吹き飛ばされる思いです。しかし、甲子園で高校生の懸命なプレーを見ても、街を歩く小さな子ども達の、底抜けに明るい笑顔にふれても、次の時代を担う若い皆さんに元気をもらえることを糧に、自分も頑張ろうという気持ちが増してきます。



17人でスタートした東海クラブは、ご多分に漏れず高齢化が進んでいます。「次代へ」をテーマに、若返りを図ろうという私がこう言うのもおかしいですが、常に若い人との接点を持ち続けながら、人生の熟練者達との交流の輪も深めていきたいと願います。我々「老人力」パワーも、社会に様々な分野で貢献できると信じます。

今年は終戦から数えて77年とか。その77年前は明治元年でした。戦争ばかりが続いた77年と、幸いにも戦争がなかった平和の77年。さて次の77年はどうなるでしょうか。残念ながら、世の中は戦争、環境悪化、格差拡大と、まさに混迷の時を迎えようとしています。だからこそ、こんな時こそ、ぜひワイズの輪を強めましょう。

足元から、まず例会から。

## 2022-2023 「いかに歩むか」

名古屋南山クラブ会長 荒川文門



2022-2023、南山クラブは重要な一年を迎えます。チャーター50年を機にクラブの幕を閉じ何か新たな一步を踏み出そうと話し合ってからもう3年経ってしまいました。ワイズを愛することは、他のどのクラブにも負けない自負がありますが、幕引きをしようと思った一番大きな理由は、ワイズとしての義務、責任が果たせなくなったことです。「強い義務感を持つ」とこれがワイズメンの矜持ですが色々な事情で持たなくなっていくジレンマに耐えられなくなったことです。メンバーの高齢化、仕事の板挟み、家庭の事情、体調などでワイズとしての義務、責任が十分果たせなくなりました。主査、部長、色々な実行委員などワイズとして席があれば喜んで受けるべきことをメンバーの多くが受けることができなくなりました。他のクラブとの関係で席がありながら義務を果たさない、というのは迷惑を掛けるばかりでこれまでの南山クラブのワイズ生活のプライドを汚すばかりです。そんなこと

をメンバー全員で何度も何度も話し合い今年を最後にしようと思断しました。

一年後解散はしますが、今年一年かけて色々なことを考えていきます。まず第一には、名古屋YMCAとの関係をいかに保つか、メンバー全員30年以上のYMCA会員であり、YMCAとの関係は今まで通り持っていきたい、そのためにはどんな形があるのかを考えていきます。第二には、クラブは解散してもY'サ、ユース、地域奉仕のこれまでの活動は続けます。今までよりもっと発展した形でこの事業にはかかわります。野外活動の子供達などへのプログラムの提供、幼稚園、保育園の遠足、各施設への給食用農産物等の提供、これまで行ってきた養護施設、成人知的障がい者寮の支援などもっともっと充実させ輪を広げていきたいと思います。

解散即自然消滅ではなく、発展的解散の方向を見つけるための一年にしたいと思っています。現在持っているIBC、台北ベータ、新仁川クラブとの関係はこのところちょっと活発です。台北は昨年度、新仁川クラブは今年度メンバーがそれぞれの国でRDを務めお祝いのビデオレターを送ったりプレゼントが届いたりしています。このIBCも消滅させるのではなくどこかのクラブで引き継いでもらう方向で話し合っています。それぞれの問題をいかに有効的に解決できるか、を今期一年かけ考え、新たな一步を2023年には迎えたいと思えます。今後とも今まで通り南山クラブをお導きください、変わらずの仲間として受け入れていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

## 主題 「楽しむぞ！ ワイズ生活のある暮らし」

名古屋グランパスクラブ会長 阿部一雄



本年度名古屋グランパス会長を務めます阿部一雄です。皆さま宜しくお願い致します。今年度の主題を「楽しむぞ！ ワイズ生活のある暮らし」とさせて頂きました。

この主題を掲げる理由は、コロナ禍における経済への影響は大きく、日々の行動制



限はワイズ活動にも大きな影響を受けました。第7波がやってきていると言われ始めていますが、様子を見ながら徐々にワイズ活動もコロナ禍以前の形に活動を再開していきたいと考えます。

主な活動として下記の3つを実施していきます。

- ①リアル例会
- ②日和田キャンプ場支援
- ③30周年記念事業 YMCA 創設者「ジョージウィリアムズ」の故郷を訪ねる

まずは第一例会をYMCA本館でZOOM併用にて再開します。卓話も再開し、停滞していた多方面で活躍しておられる方々の話をお聞きする機会を増やしていきたいと思えます。

グランパスとの関わりが強い日和田キャンプ場支援もこの1年議論を重ね、支援策を取りまとめた上でYMCAへ提言書にまとめ、提案を考えていきます。

私は今回で3回目の会長拝命となります。過去グランパス設立10周年、20周年の時に会長を務めてきました。今回も30周年の周年で会長を受けることになりました。クラブとしての記念事業はイギリス訪問を実現したいと考えています。YMCA発祥地訪問、チェルシーフラワーショーをメインに、コロナ禍明けとなる機会を予測しての活動に移行していきます。

イギリスへクラブの方々全員が行ける訳ではありませんので、例会などでイギリスについて理解を深める時間を設けます。帰国後は報告会も開催してYMCA理解を深めていきます。

コロナ禍で経済活動を奪われた日常をワイズ生活をおくりながら「楽しむ」ことへの1年としていきますので、皆さまのご協力、ご支援宜しくお願い致します。

中部書記&中部情報委員長

名古屋グランパスクラブ 荒川恭次

コロナ禍に入って3年。日常生活はマスク無しでは外出できず、外へ出れば国民皆覆面で顔見知りとあっても誰かわからず挨拶もできない状況です。いつになったら終わりが来るのか全くわかりません。ワイズ活動も密を避けるため役員会・例会等はオンラインが主

流となっています。中部部会も2019年以降は未開催です。中部評議会に至っては全てオンライン開催となっています。



地域環境的に太平洋側と日本海側に広範囲な中部では、むしろオンラインのメリットが大きく、対面では年2回の開催でしたがオンラインでは年4回開催も無理ではありません。おまけに会長会も開催できま

す。過去何度も中部はオンラインが必要との思いから種々検討してきましたが、新型コロナ蔓延でオンラインツールが充実してこれまでの苦労が一気に解消することができました。メールだけの情報共有では物足りなかったものが、マスク無しでリアルタイムに相手の動画を見ながら同時進行できるZOOM会議は新型コロナの副作用として大きな成果かと思えます。でもやはり顔を突き合わせての対面が一番ですので、ZOOMは道具として持ちつつ皆さんに直接会いたいものです。

今年度は、出来れば対面での部会と、併せて金沢クラブ75周年記念例会を開催としたいとの部長意向はぜひ実現したいと思います。そして評議会等の遠隔会議はZOOMを活用しますので、ご協力よろしくお願い致します。

